

---

# 2003年(平成15年)3月期決算

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

2003年5月26日

---

---

## ■ 目 次

✦ 決算概況および業績見通し

✦ 中期経営計画「WIT2000」と  
新中期経営計画「WIT21」

✦ 事業部トピックス  
— 当社の電子事業について —

---

---

# 当期の連結業績

---

# 業績の概況(連結)

(単位:億円)  
(億円未満切捨て表示)

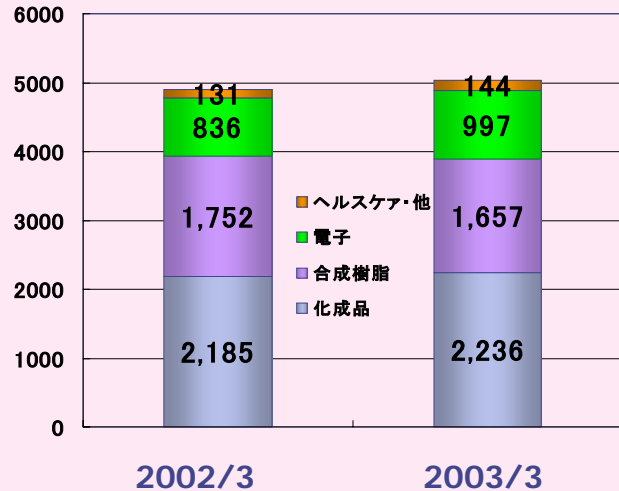
## エレクトロニクス分野と海外販売の増加、高収益ビジネスの拡大

	03/3	02/3	増減	前期比	コメント
売上高	5,036	4,905	131	103%	海外販売増加 電子事業の拡大
売上総利益	518	469	49	111%	高収益ビジネス増加 製造会社好調
営業利益	84	16	67	504%	売上拡大による利益増 製造会社の採算改善
経常利益	112	47	65	238%	
税前純利益	75	△29	104	-	有価証券評価損減少 特別利益(補償金)計上
当期純利益	41	△20	62	-	
1株当り 純利益	31円72銭	△15円39銭	47円11銭	-	
ROE	2.9%	△1.4%	4.3%	-	

# セグメント別売上高および売上総利益

(億円未満切捨て表示)

## 売上 5,036億円 前期比131億円増加



(単位:億円)

## セグメント別売上概況

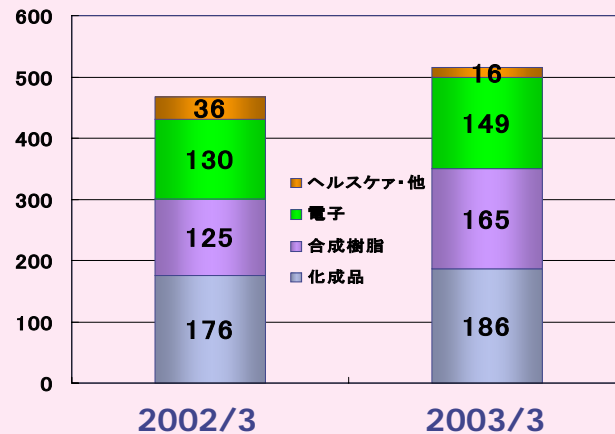
### 化粧品 +51億円 (102%)

- 海外販売好調
- 顔料・塗料原料・新規ビジネス好調
- 新規連結 ナガセ医薬品増加

### 合成樹脂 △94億円 (95%)

- GE社国内商権移管の影響
- 自動車関連は伸長
- 海外電気機器向け樹脂販売増加

## 売上総利益 518億円 前期比49億円増加



(単位:億円)

### 電子 +160億円 (119%)

- 液晶・半導体前工程好調
- 液晶部材精密研磨等後工程伸長
- 通信部材大幅伸長

### ヘルスケア・他 +13億円 (110%)

- 医療機器関連好調
- 化粧品・健康食品は微減
- 新規連結の影響

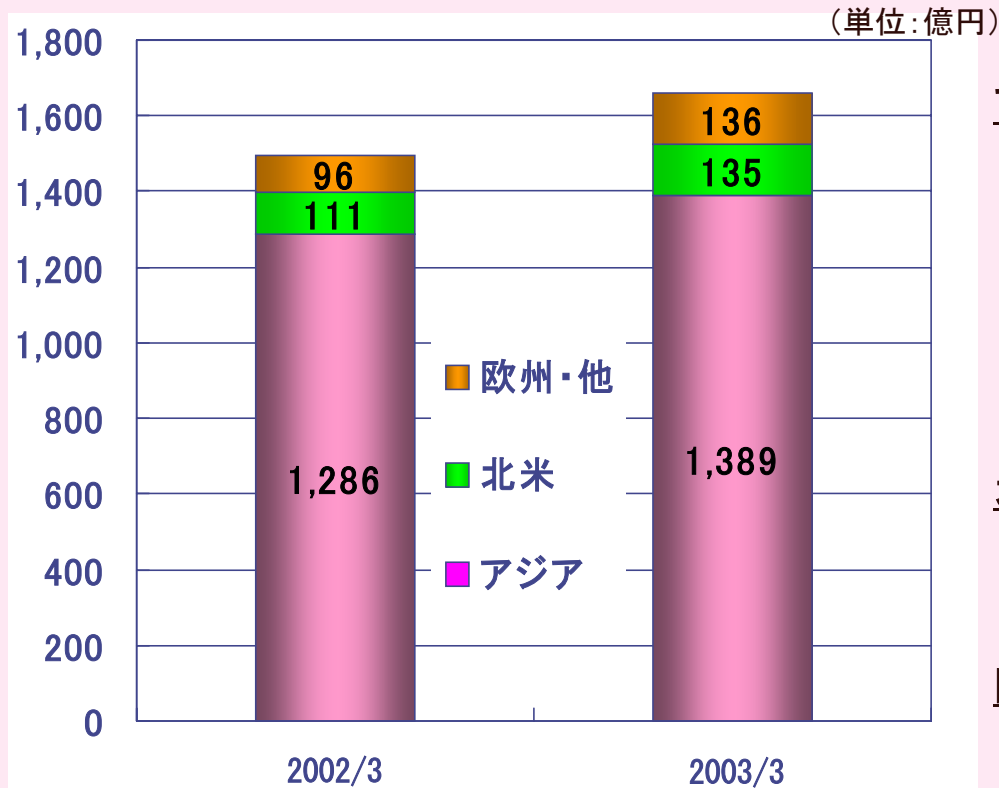


NAGASE & CO., LTD.

# 海外売上高

(億円未満切捨て表示)

## 1,661億円 前期比111% +166億円 エレクトロニクス分野・自動車分野の拡大



### アジア+102億円(108%)

- 合成樹脂原料・添加剤関連好調
- 電気・情報機器向け合成樹脂販売 伸長
- 液晶部材など好調
- 半導体用高機能材料など好調

### 北米+23億円(121%)

- 自動車向け金型・設備の増加
- 記録材料関連好調

### 欧州・他+40億円(142%)

- 欧州向け医薬関連・記録材料好調
- 自動車関連好調
- 欧州向けディスプレイ関連大幅増

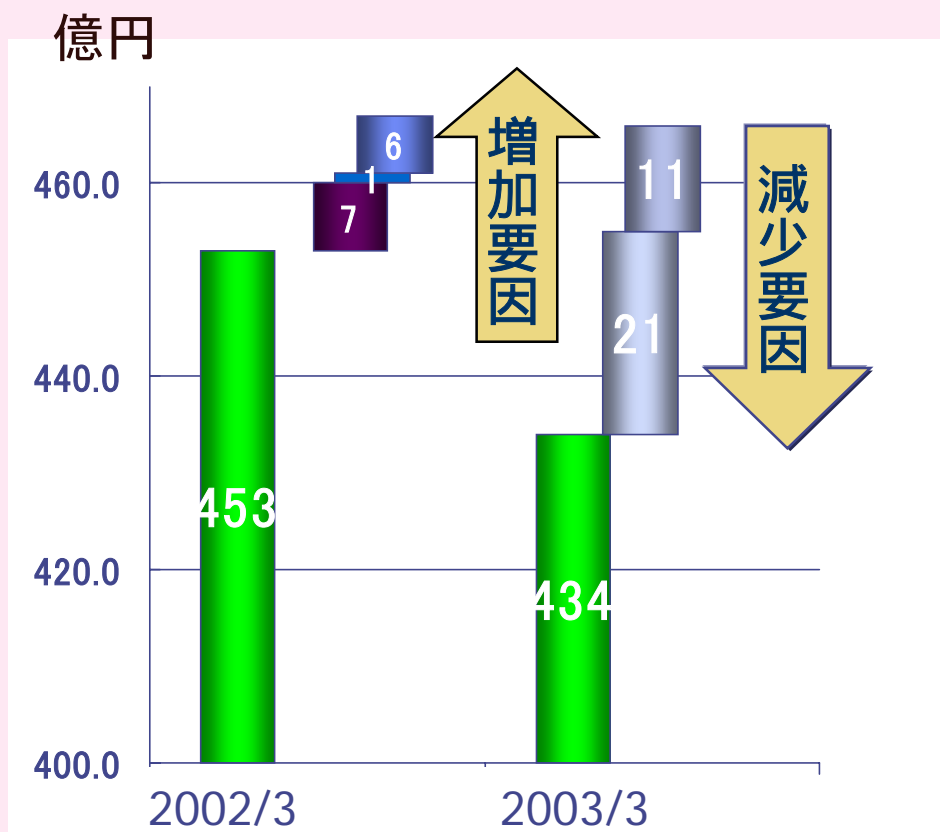


NAGASE & CO., LTD.

# 販管費

(億円未満切捨て表示)

## 434億円 前期比 18億円減少



### ◇増加要因

- 貸倒引当の増加 6億円
- 輸出増加による販売費増加 1億円
- 新規連結 7億円

### ◇減少要因

- 経費削減効果 11億円  
(人件費8億円)  
(その他3億円)
- 内部取引消去増 21億円



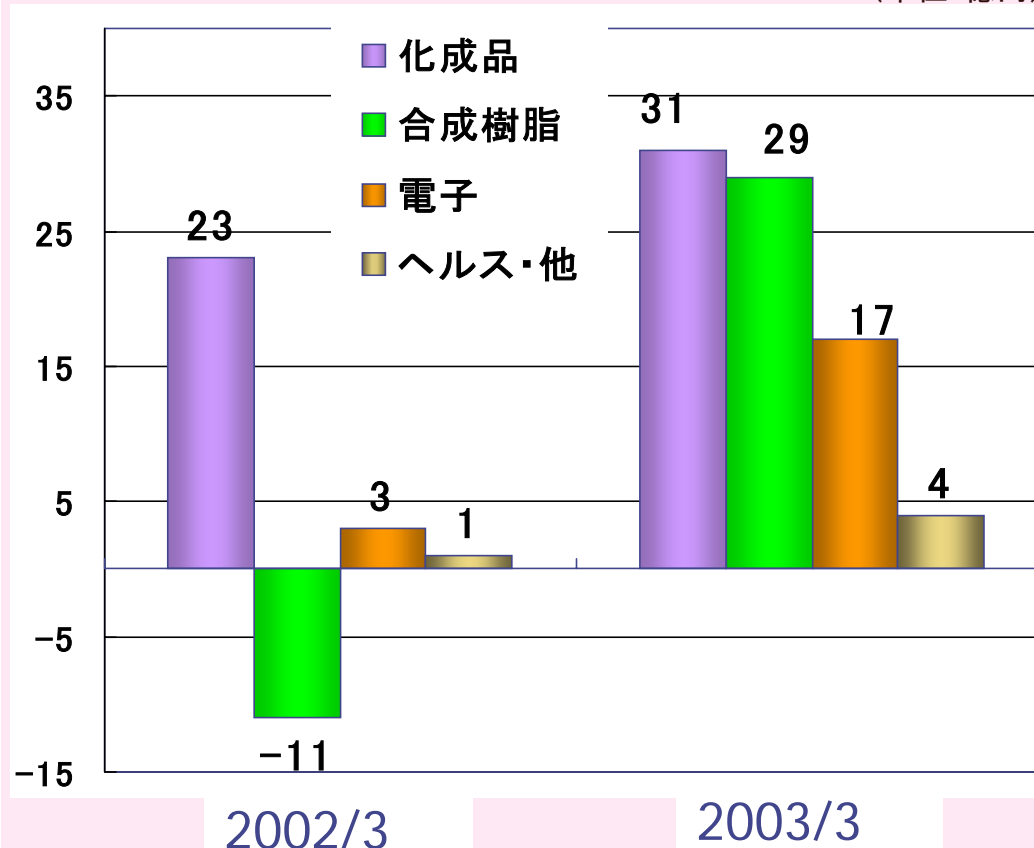
NAGASE & CO., LTD.

# 営業利益

(億円未満切捨て表示)

**84億円 前期比 504% 67億円増加**  
**事業拡大と損益改善により大幅増を達成**

〈セグメント別営業利益〉 (単位:億円)



## 営業利益概況

- 電子事業などの売上増加
- 売上利益率10.3%へ上昇
- 単体営業利益40億円の改善
- 製造子会社の売上増加・採算大幅改善
- 海外子会社の売上増加による利益増加



NAGASE & CO., LTD.

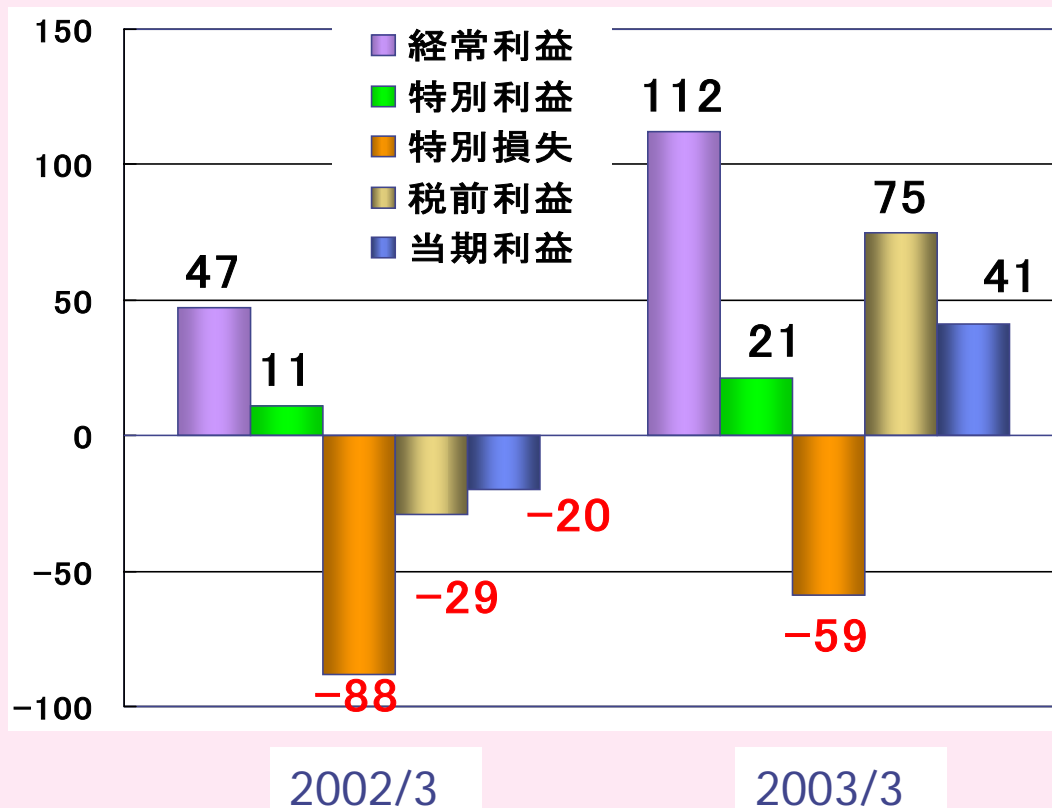


# 経常利益・当期利益

(億円未満切捨て表示)

**経常利益112億円 前期比 238% 65億円の増加**  
**経常利益予想を達成**

(単位:億円)



**経常利益 112億円 +65億円**

- 営業利益 +67億円
- 為替差益 ▲3億円
- 受取配当 ▲2億円
- 雑損減少 +4億円

**特別利益 21億円 +10億円**

- 損失補填金 +15億円
- 投資有価証券売却益 ▲5億円

**特別損失 ▲59億円 +29億円**

- 投資有価証券評価損減少 +27億円
- 特別退職金減少 +12億円
- リース解約損 ▲3億円
- 401K導入費用損 ▲3億円

**当期利益 41億円 +62億円**



NAGASE & CO., LTD.

# 主な貸借対照表の増減

(単位:億円)  
(億円未満切捨て表示)

## ① 投資有価証券の時価評価 ② 投資有価証券の売却

〈資産〉	03/3	02/3	増減	〈負債及び資本〉	03/3	02/3	増減
現金及び預金	196	232	△ 36	支払手形及び買掛金	959	1,055	△ 96
受取手形及び売掛金	1,508	1,512	△ 3	短期借入金	80	67	13
棚卸資産	281	255	26	コマーシャルペーパー	—	30	△ 30
その他流動資産	41	60	△ 19	その他流動負債	161	146	15
有形固定資産	260	252	8	社債	70	70	—
投資有価証券	490	630	△ 139	長期借入金	15	29	△ 14
その他固定資産	68	57	11	(有利子負債)	(165)	(196)	
				その他固定負債	110	122	△ 11
				少数株主持分	40	37	3
				株主資本	1,409	1,441	△ 32
				(自己株式)	(△ 59)	(△ 26)	(△ 32)
				(株主資本比率)	(49.5%)	(48.0%)	
資産合計	2,848	3,000	△ 152	負債・少数株主持分 資本合計	2,848	3,000	△ 152



NAGASE & CO., LTD.

# キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

## ① 税前提利益・減価償却増加 ② 借入金減少 ③ 自己株式取得

	03/3	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	43	税前提利益75億円 減価償却31億円 その他 債権増加 仕入債務減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	9	設備投資31億円 有価証券売却50億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 76	短期借入金 32億円減少 自己株式取得 32億円
現金及び現金同等物の期末残高	190	前期比29億円の減少



# 主な連結会社の業績

(単位:百万円)

(百万円未満切捨て表示)

## ① アジア現地法人好調 ②製造会社損益改善 ③単体業績回復

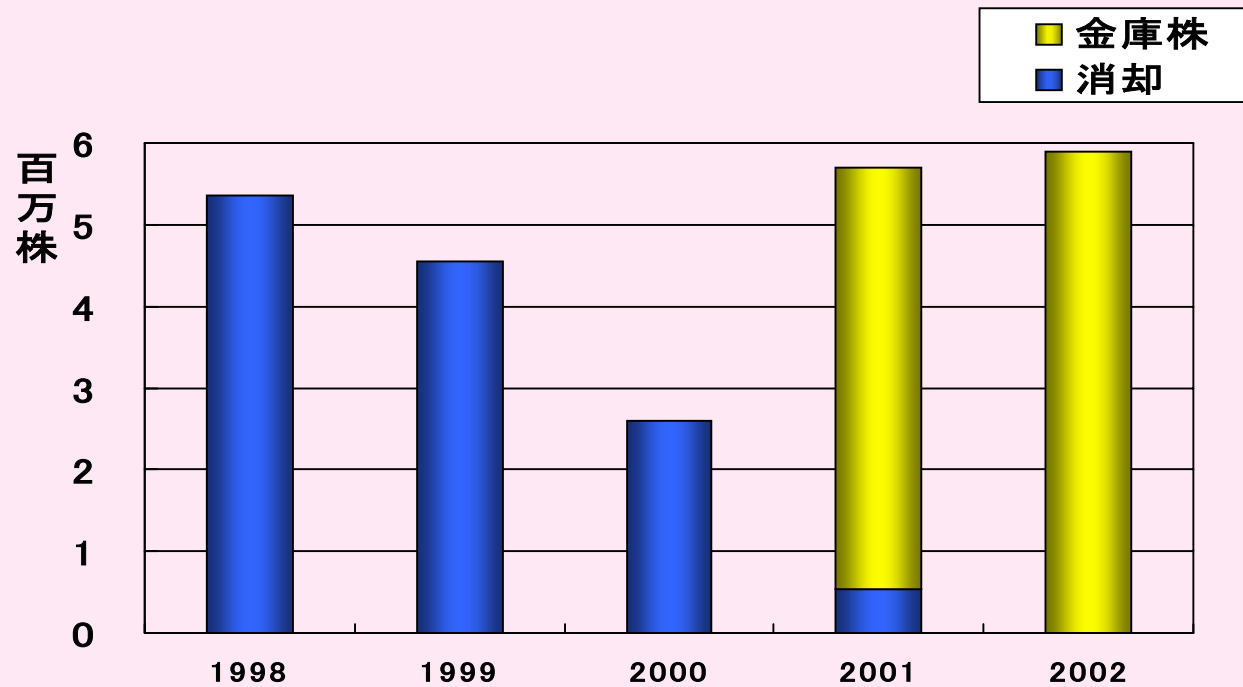
		売上高	前期比	営業利益	前期比	当期利益	前期比
	長瀬産業	418,004	103%	3,171	-	1,126	-
製造会社	ナガセケムテックス	20,334	107%	1,151	1718%	515	135%
	東拓工業	6,743	99%	362	-	1,532	-
	セツナン化成	4,925	121%	40	-	34	-
	ナガセ医薬品(*)	2,740	81%	104	56%	43	70%
	寿化成工業	2,412	104%	87	99%	47	95%
販売会社	ナガセプラスチック販売	10,432	111%	26	176%	30	331%
	報映産業	13,920	92%	▲23	-	31	20%
	長瀬カラーケミカル	14,218	92%	56	49%	1	5%
	ナガセケミカル	6,119	103%	65	123%	30	144%
海外	ナガセ香港	23,986	115%	664	116%	568	105%
	ナガセシンガポール	32,336	109%	425	116%	413	122%
	ナガセタイランド	16,682	130%	601	182%	453	172%
	ナガセアメリカ	11,530	106%	42	54%	70	85%
	カナダモールドテクノロジー	1,191	109%	204	321%	113	374%

(\*)は新規連結会社



NAGASE & CO., LTD.

# 自己株式取得の状況



	株式数(千株)	金額(億円)
2002年度取得実績	5,900	32
取得自己株式累計	24,086	118
2003年3月末現在所有金庫株	11,066	59



---

# 業績見通し

---

# 業績見通し

(単位:億円)  
(億円未満切捨て表示)

	2004年3月期 (予想)	2003年3月期 (実績)	前期比 (%)
売上高	5,090	5,036	101%
売上総利益	529	518	102%
販売費及び一般管理費	440	434	101%
営業利益	89	84	106%
営業外損益	29	28	102%
経常利益	118	112	105%
当期純利益	60	41	143%

	売上高			売上総利益		
	2004年3月期 (予想)	2003年3月期 (実績)	前期比 (%)	2004年3月期 (予想)	2003年3月期 (実績)	前期比 (%)
化成品	2,240	2,236	100%	190	186	102%
合成樹脂	1,680	1,658	101%	168	165	101%
電子	1,020	997	102%	154	149	103%
ヘルスケア・他	150	144	104%	17	16	100%
合計	5,090	5,036	101%	529	518	102%



NAGASE & CO., LTD.

---

# 中期経営計画「WIT2000」と 新中期経営計画「WIT21」

---



# 「WIT2000」総括 (2000年度～2002年度)

## WIT2000目標

新規ビジネス創造  
戦略分野への積極投資  
グループ連結経営の重視  
B/S、C/F重視

### 経営目標

N-ROE	7.0%
売上	6,300億円
当期利益	83億円

## 成果

特徴あるビジネスの増加  
約200億円の投資

有形固定資産の取得 107億円  
投資有価証券の取得 80億円

### 経営成果

N-ROE	5.7%
売上	5,036億円
当期利益	41億円

外部環境の激変 (IT不況・会計制度変更・商権問題など)



# 新中期計画「WIT21」の基本方針

## 経営理念

長瀬産業株式会社は、社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

## ナガセグループスローガン

“知恵をビジネスにする技術・情報企業”

## 長期ビジョン

ケミカルを基盤として、新たな「機能」と「サービス」をグローバルに提供し、顧客の課題を解決する高付加価値ビジネスを創造し続ける会社を目指す。その成果目標として10年後に連結営業利益200億円、売上総利益率15%、資本コストを上回る収益を目指す。



NAGASE & CO., LTD.

W/Wisdom

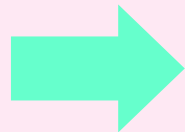
I/Intelligence

T/Technology

# ビジネス創造と戦略分野への投資

## 基本戦略

顧客指向の徹底により、差別化を図ることを基本方針として、マーケットリーダー事業の育成・強化、ナガセグループの機能と独自性を生かしたビジネスの創造により収益の向上を図る



「技術」・「情報」・「知恵」を駆使し、チャレンジを継続

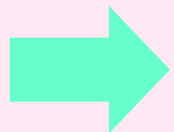
## 重点戦略分野

電気・電子産業などエレクトロニクス分野

自動車関連分野

医薬・医療産業などライフサイエンス分野

海外事業分野



戦略分野を中心に3ヶ年で200億円程度の投資を検討



NAGASE & CO., LTD.

W/Wisdom

I/Intelligence

T/Technology

# WIT21 経営目標

(単位: 億円)

## 新中期計画「WIT21」策定の方針

- ① 経営理念を再度確認し、事業構造転換と収益向上を図る
- ② 顧客指向の徹底と新規ビジネス創造の基本方針は不変
- ③ N-ROEに代わり、営業利益を経営指標とする

## 経営目標(連結ベース)

	2006年3月期	2003年3月期
売上高	5,500 (海外2,200)	5,036 (海外1,661)
営業利益	110	84



NAGASE & CO., LTD.

W/Wisdom

I/Intelligence

T/Technology

# 中国でのビジネス展開

グレートチャイナ圏での販売推移

2001年3月期 756億円

2002年3月期 674億円

2003年3月期 723億円

グループ関係会社11社

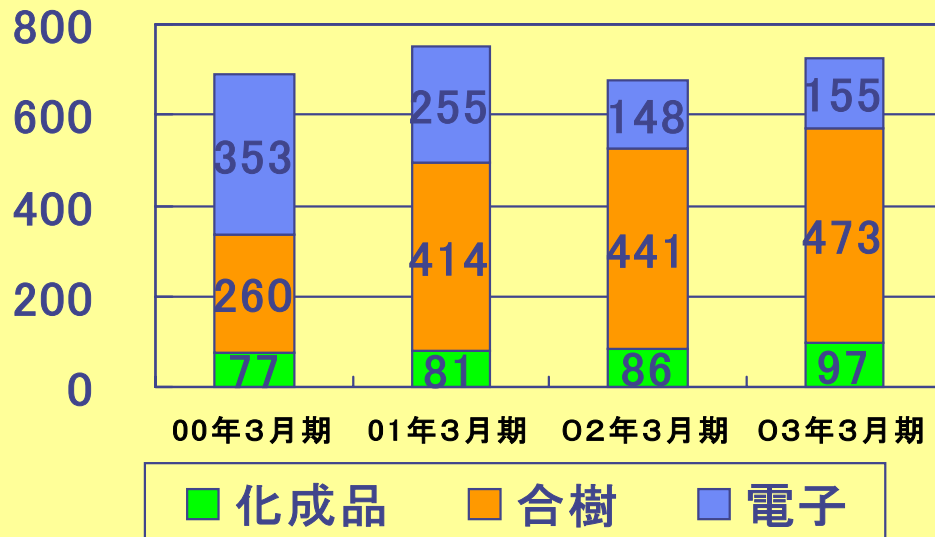
## 《販売強化方針》

大連・天津地区の強化  
中国現地企業の部品・製品販売

## 《製造拠点強化方針》

中堅企業との事業提携・JV設立  
などによる加工事業強化

事業別売上推移(単位 億円)



## 大連地区

電気産業を中心とした展開

## 天津地区

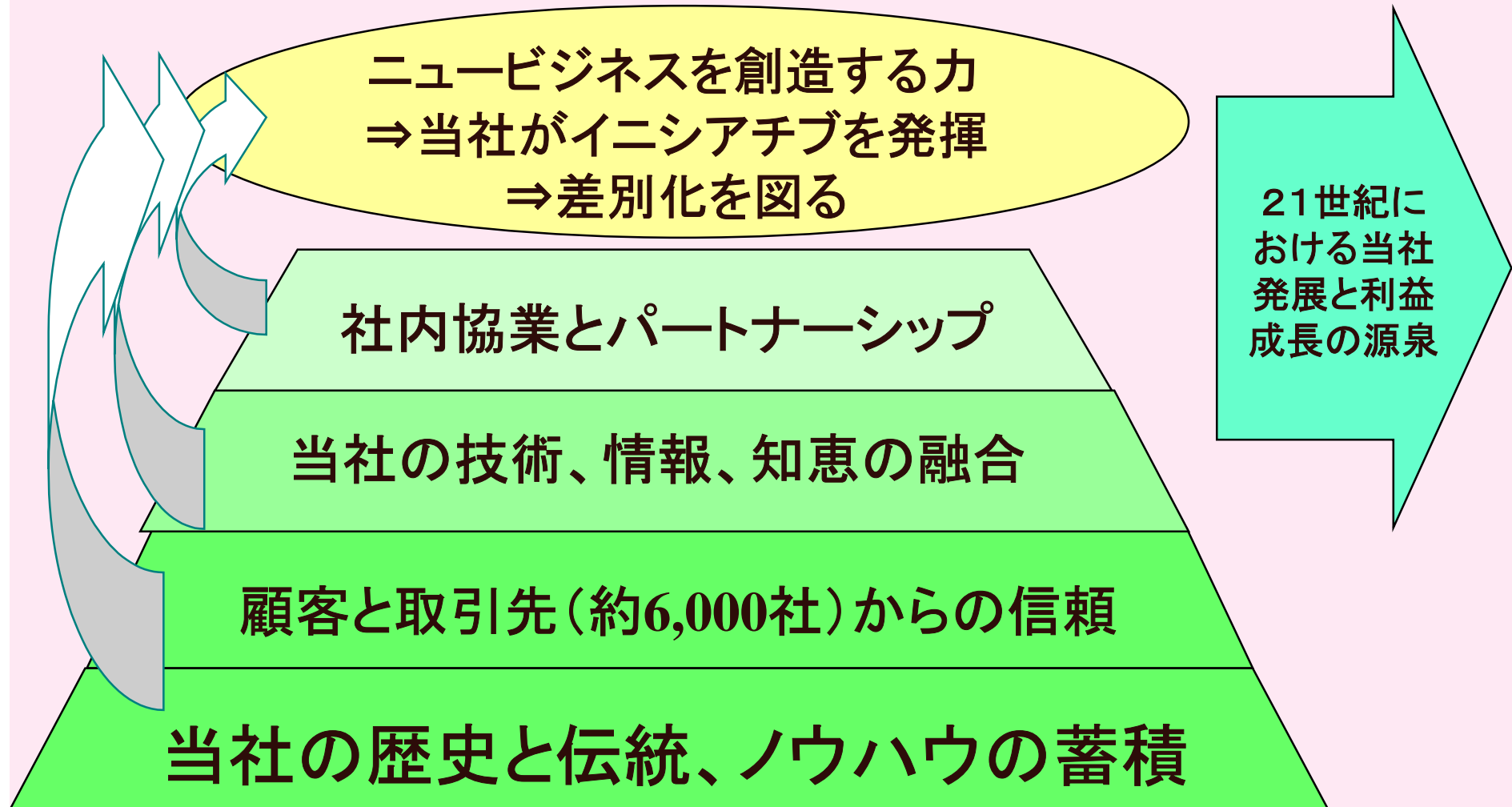
自動車を中心とした展開

## 上海地区

非日系企業への販売強化策

長瀬精細化工・長瀬精密塑料など  
製造会社を中心とした事業強化

# ビジネス創造とイニシアチブの確保



# コーポレートガバナンスの強化

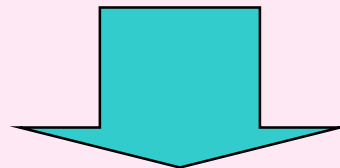
---

株主・投資家への情報開示

監査機能の強化、経営のモニタリング

投資案件に対するリスクマネジメントの徹底

執行役員制度の定着



常に長期的・客観的な視点から経営を考える



NAGASE & CO., LTD.

W/Wisdom

I/Intelligence

T/Technology

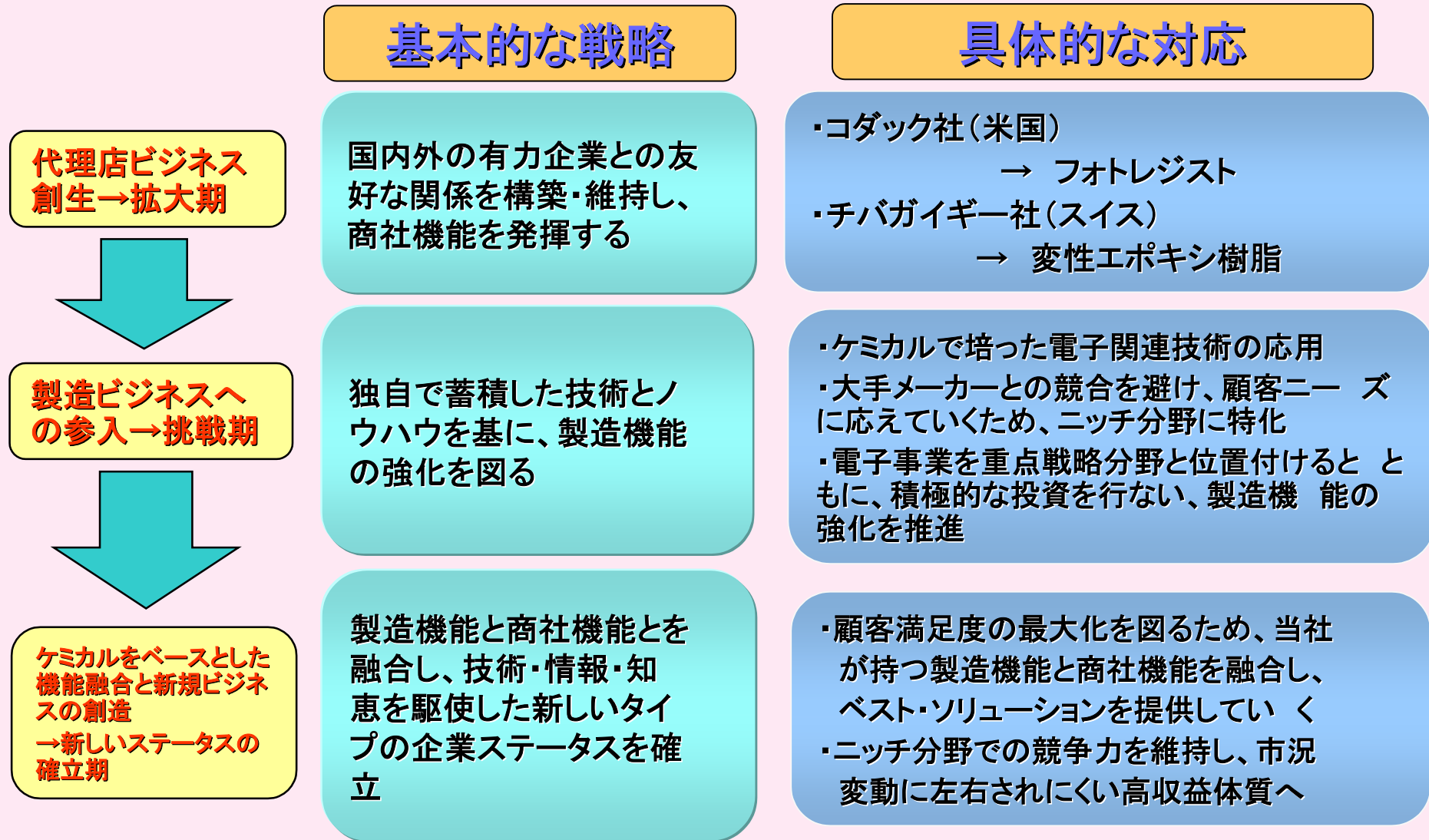
## 当社の電子事業について

電子第一事業部  
関子執行役員

---

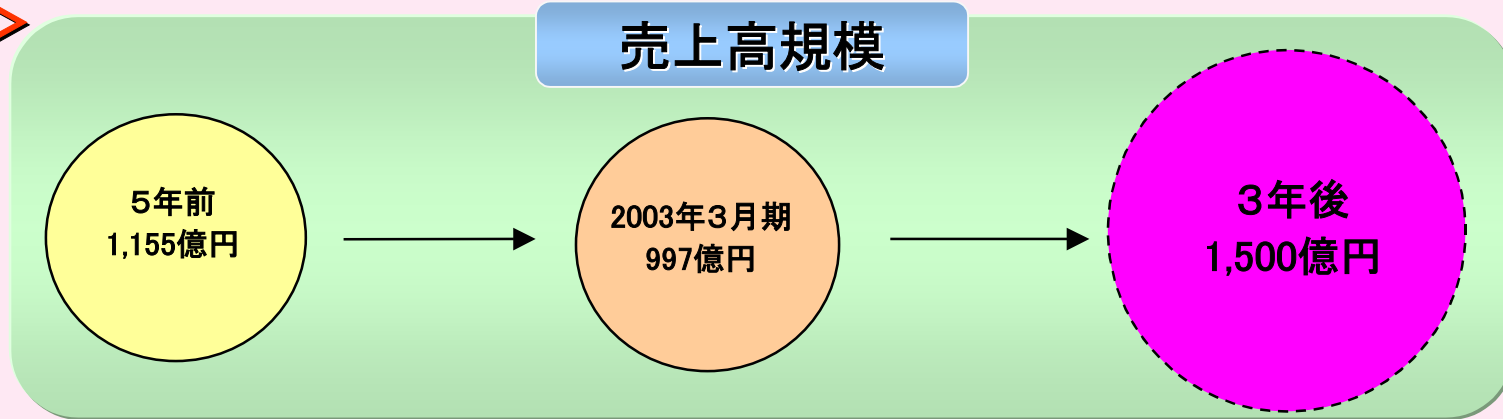


# 電子事業の歴史と今後の方向性



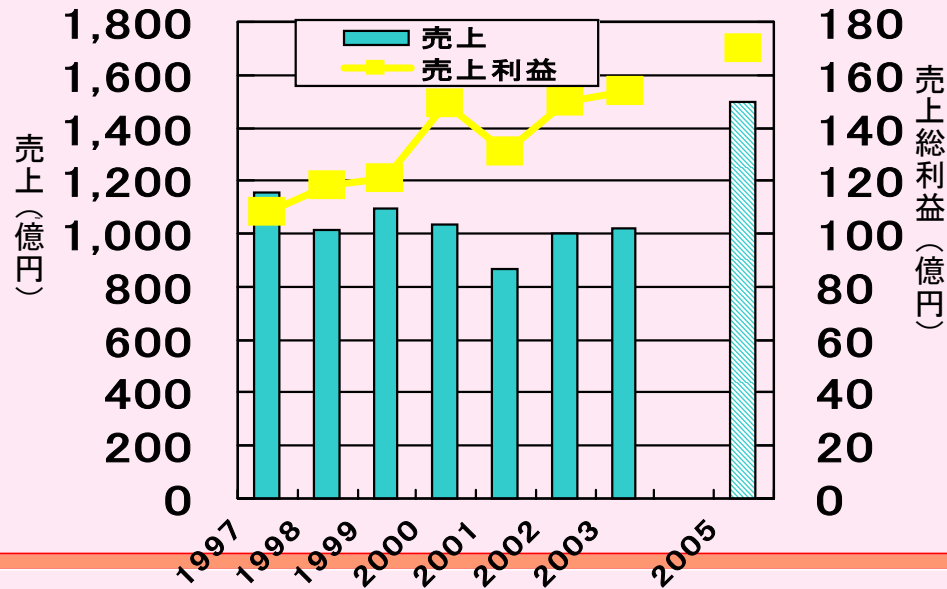
# 電子事業の成長性と収益性

## <成長性>

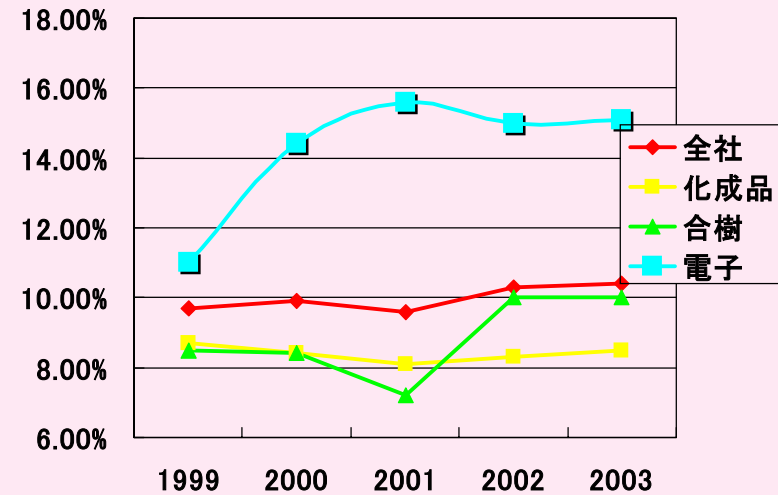


## <収益性>

### 売上・売上総利益推移



### 売上総利益率



# 電子事業の主要な製品

電子第一事業部 売上420億円

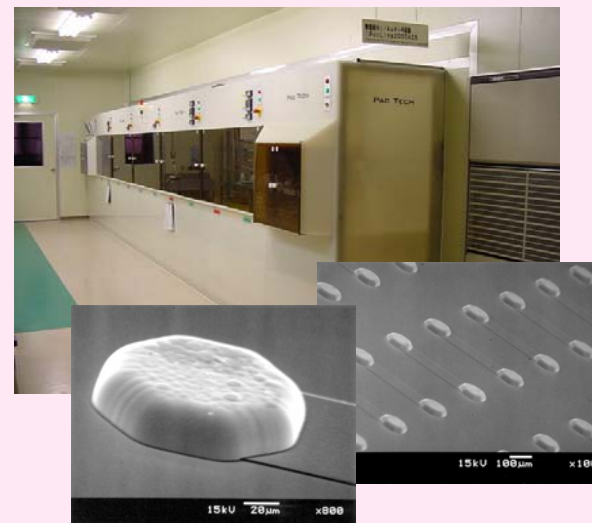
半導体・液晶製造用ケミカルマネジメントシステム、  
半導体・液晶製造用化学薬品、半導体パッケージ材料、  
絶縁材料、フッ素樹脂関連製品、  
エポキシ樹脂関連製品、無電解メッキシステム

ケミカルから派生した技術を活用

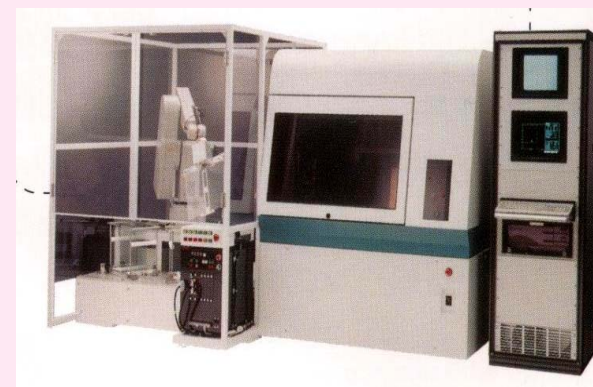
電子第二事業部 売上580億円

表示デバイス、LCD・有機EL用材料、精密研磨材料、  
無線通信モジュール及びサブシステム、  
表面欠陥検査装置

電子デバイスの独自技術を活用



アルファパンピングテクノロジー社



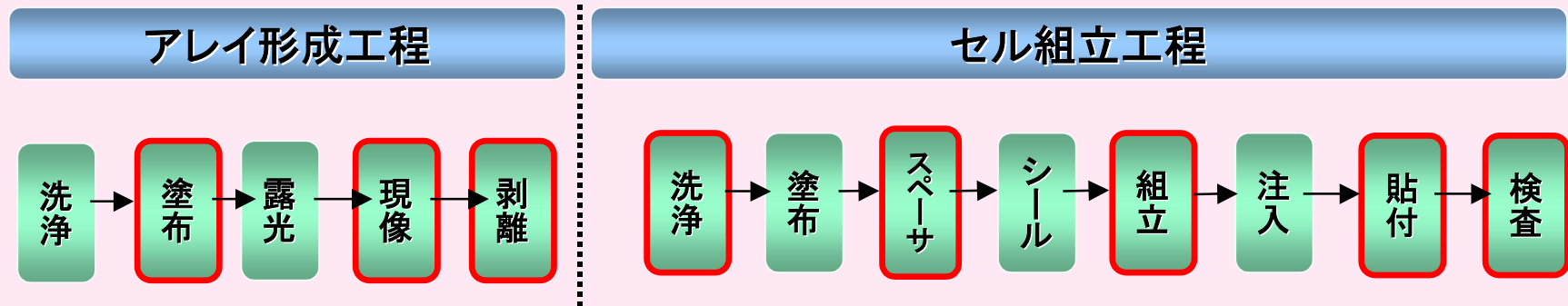
表面欠陥検査装置「スキャンテック」



NAGASE & CO., LTD.

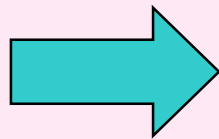
# ニッチ分野への特化の考え方(例)

## 液晶パネルの製造工程の例



全工程に一様に対応するのではなく、当社の得意分野で高収益が期待される工程に特化

## 汎用品は避け、利益率の高いデバイスに特化



汎用品は、大手メーカーに材料だけ供給するなどの対応(商社機能)顧客との距離が近い利点を活かし、研究開発や新製品作成の現場において、顧客が求めるもの、顧客が満足するものにいち早く対応する

## ニッチ分野でのトピック

半導体封止材

PHS基地局

表示デバイス

次世代フォトレジストの開発



NAGASE & CO., LTD.

# 当社の電子関連事業の強み

## 製造メーカーとしての強み

選択と集中(絞込み)

ニッチ分野への特化

技術開発力



大手メーカーとの競争を避け、数億～十数億円程度の投資額で製造事業への参入が可能なニッチ分野に特化し、参入した各分野において高シェアの確保を目指し、高収益を維持する

## 商社が持つ事業部としての強み

顧客基盤と信頼関係

情報分析力

パートナーシップ



商社ビジネスにおいて培った顧客との信頼関係、情報収集と分析能力を活かし、顧客が求める課題に対して、自社・他社の製品を組み合わせ、ベストソリューションを提供することが可能



NAGASE & CO., LTD.

# 製造子会社への積極的な投資

## ナガセケムテックス シンガポール工場



## ナガセケムテックスの会社概要

資本金：24億2,000万円  
売上高：203億円(2002年度実績)  
取締役社長：長瀬玲二

## NCXにおける重点的な技術開発

- ・フルオレン・ポリシラン変性品
- ・次世代ArF フォトリジスト
- ・次世代剥離剤
- ・光学材料

## その他の主な製造関連子会社

国内

ナガセシエムエステクノロジー

ギガテック

アルファバンピングテクノロジー

海外

ナガセケムテックス シンガポール工場

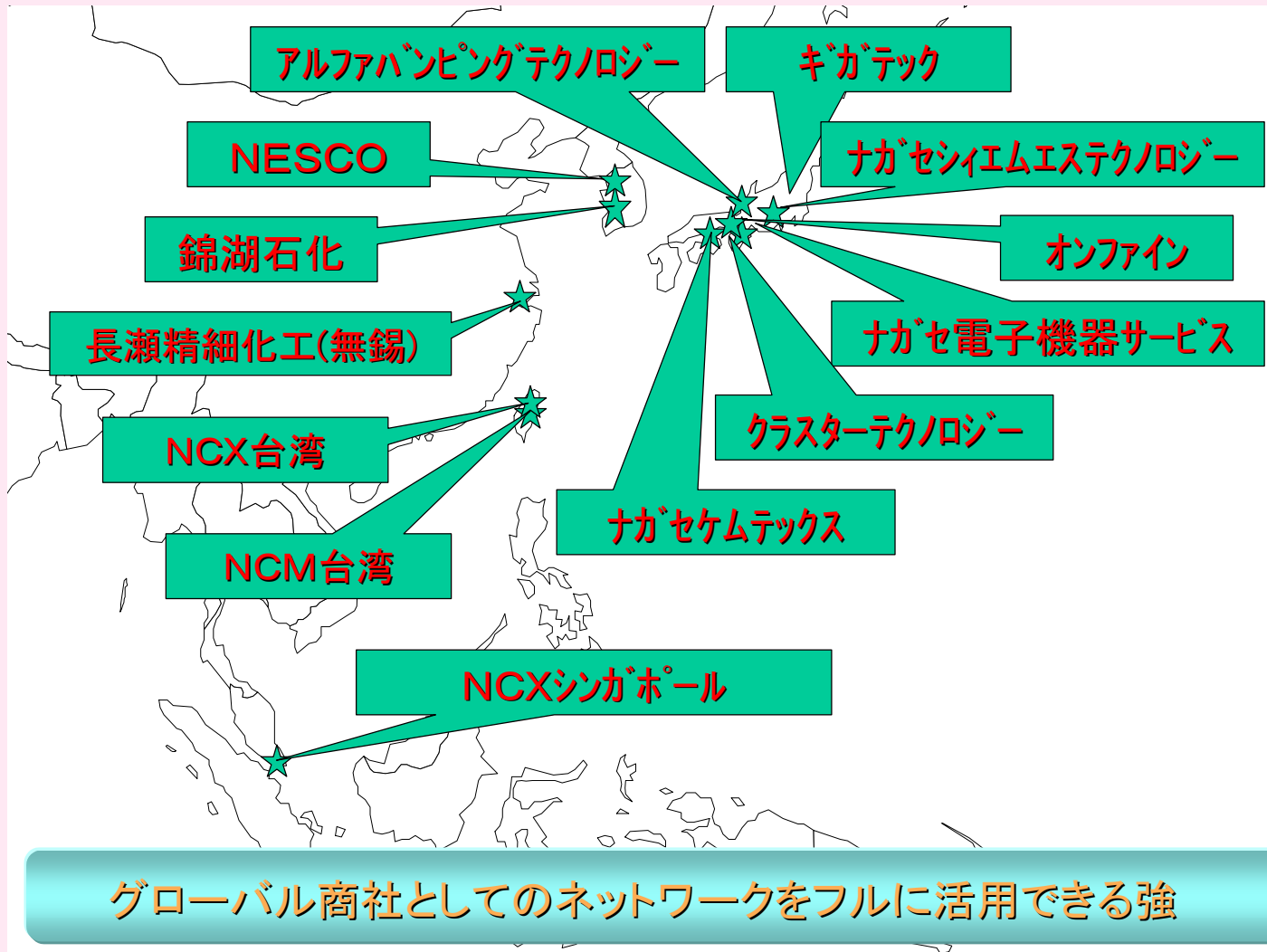
長瀬精細化工(無錫)

ナガセケムテックス 台湾工場



NAGASE & CO., LTD.

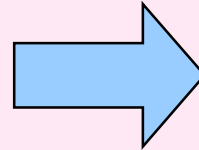
# 生産・販売拠点のグローバル展開



# 今後の事業展開

## 基本戦略

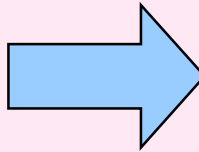
製造機能と商社機能の融合



顧客へのベストソリューションの提供、  
新しい企業ステータスの確立

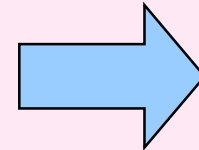
## 事業展開

海外を中心とした拡販戦略



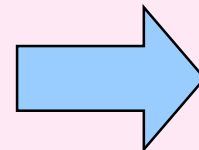
当社の商社機能とネットワーク  
を活用し、海外売上高を増やしていく

ニッチ分野への特化を継続



事業の選択と集中を強化し、  
ニッチ分野での価格支配力を強める

最良のパートナー選択



相互に補完し、機能やサービスを  
高めあうためのパートナーシップ



NAGASE & CO., LTD.



---

# 知恵をビジネスにする技術・情報企業



## 長瀬産業株式会社

当プレゼンテーション資料には、2003年5月26日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

---